

# (I) 宮崎県「教育の情報化」推進プランの改訂について

## 1 現行プランの概要

### (1) 性格

1人1台端末の整備などGIGAスクール構想の実現の動き等を踏まえ、本県における教育の情報化を推進するための具体的な取組事項を整理したものである。

### (2) 計画の期間 令和3年から令和6年までの4年間

### (3) 基本目標

自分に合った学び、仲間とともに深める学び、創造性を発揮できる新しい「みやぎきの学び」の実現

### (4) 推進項目

- ① 情報活用能力の育成
- ② 教科指導におけるICT活用の推進
- ③ 校務の情報化の推進
- ④ 新しい教育様式の確立

## 2 改訂の理由等

新たに策定した「宮崎県教育振興基本計画」に掲げる教育情報化施策のさらなる推進を目指し、次の視点により改訂する。

### (1) 国の学校教育情報化推進計画及び宮崎県教育振興基本計画

(R5.6策定)を踏まえた改訂

### (2) 現状を踏まえた具体的取組の見直し

### (3) 目標指標の見直し

## 3 改訂の経緯

学校関係者、保護者代表、学識経験者等10名で構成する改訂委員会を設置し、合計3回の改訂委員会を開催し、幅広い意見を聴きながら進めた。

第1回改訂委員会 (令和5年8月31日)

第2回改訂委員会 (令和5年10月26日)

第3回改訂委員会 (令和5年12月19日)

## 4 改訂委員等からの主な意見

- (1) ICT活用はあくまでも手段であり、活用すること自体が目的となるものではない。これまでの教育実践と掛け合わせて授業の中でいかに効果的に活用するかという視点が重要である。
- (2) 「ひなたの学び」の実現に向け、ICTを活用した授業改善や小・中・高等学校の継続した情報活用能力の育成の必要性について、現場の教員が分かるように明示する必要がある。
- (3) 学校現場で情報モラル教育を効果的に進めるための取組の充実が必要である。
- (4) 各家庭での利活用に差が出ないように、保護者への情報発信は重要である。
- (5) 単独の指標だけで成果は判断できない。教育振興基本計画等の他指標と重ねながら総合的に見ていくことが必要である。

## 5 スケジュール

- R5. 12月 常任委員会に報告 (検討状況について)
- R6. 2月 定例教育委員会に報告 (改訂案について)
- R6. 3月 常任委員会に報告 (改訂案について)

### ※ 宮崎県教育振興基本計画

#### 施策6 教育の情報化の推進

- 1 ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成
- 2 教職員のICTの活用指導力の向上
- 3 ICTを活用するための環境の整備
- 4 ICT推進体制の整備と校務の改善

# 宮崎県教育の情報化推進プランの構成(改訂案)

計画期間 令和6年度から令和9年度までの4年間

本県における教育の情報化の推進に係る留意すべき視点

- 1 児童生徒の力を育む手段としてのICT活用
- 2 ベストミックスを生み出すICT活用
- 3 令和の日本型学校教育の実現に向けたICT活用

基本目標 **ひ** とりひとりが問いをもち **な** かまとなって学び合い **た** かめよう深く考える力  
ICTを活用した「ひなたの学び」の実現

基本目標

推進項目

1 ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成

2 教職員のICTの活用指導力の向上

3 ICTを活用するための環境の整備

4 ICT推進体制の整備と校務の改善

取組

具体的取組

(1) ICTの強みを最大限に生かした授業改善

- ① ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- ② 遠隔教育システムの活用を通じた授業の充実
- ③ ICTを活用した小・中・高12年間を通じた情報活用能力の育成

(2) プログラミング教育の充実

- ① プログラミング的思考を育む学習活動の充実
- ② 高校「情報I」等における各学校の実態に即したプログラミング教育の充実
- ③ プログラミング教育に関するコンテンツの充実と活用推進

(3) 情報モラル教育の充実

- ① GIGAワークブックみやぎきの活用推進
- ② 情報モラル教育に関するコンテンツの充実と活用推進

(1) 授業における実践事例や指導教材の共有

- ① 授業におけるICT活用の実践研究
- ② 県内全教職員の情報共有に向けた共通ポータルサイトの活用
- ③ 共通ドメインのアカウントの配付・活用推進
- ④ 授業における生成AIの活用に関する研究

(2) ICTの活用に関する研修の充実

- ① 管理職向けの研修の充実
- ② ICT教育担当者向け研修の充実
- ③ 教職員のニーズ等に応じた研修の充実
- ④ プログラミング教育や情報モラル教育に関する研修の充実

(1) 情報セキュリティ対策の推進

- ① 県立学校教育情報セキュリティポリシーの改正
- ② 市町村教育委員会への教育情報セキュリティポリシーに関する支援
- ③ 関係規定の整備状況等の確認・助言

(2) ネットワーク環境の充実とICT機器やコンピュータ教室の整備

- ① 1人1台端末の着実な更新
- ② ネットワーク回線調査の実施
- ③ フルクラウド化を想定した検討・準備
- ④ 新たな学びに対応したコンピュータ教室の再整備の検討

(3) 家庭学習におけるICT活用の推進

- ① 家庭学習における1人1台端末の活用推進
- ② 保護者向けの情報発信

(4) 教育データの利活用の推進

- ① ICTを活用した教育データ利活用の研究

(1) 学校現場を支える推進体制の整備

- ① 県内推進体制の構築
- ② 学校間連携推進体制の構築
- ③ GIGAスクール運営支援体制の構築
- ④ 校内推進体制の支援

(2) 統合型校務支援システムの活用・改善による校務の情報化の推進

- ① 業務を支援するツールを活用した効率化の推進
- ② 次期校務支援システムへの移行
- ③ 校務における生成AIの活用推進

# 現行プラン

※基準値は、令和元年度調査における本県の割合

指標名	基準値	目標値
	令和元年度	令和6年度
◇教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力をもつ教員の割合 (%)	82.2	90.0
◇授業にICTを活用して指導する能力をもつ教員の割合 (%)	61.7	80.0
◇児童生徒のICT活用を指導する能力をもつ教員の割合 (%)	62.1	80.0
◇情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力をもつ教員の割合 (%)	73.4	90.0
◇プログラミング教育担当者を対象としたセミナーや研修へ参加する教員の割合 (%)	0	100
◇高等学校において年間20時間程度のプログラミング教育を実施する学校の割合 (%)	0	100



# 改訂案

(成果を確認)

基本指標	現状値 令和4年度	目標値 令和9年度
1 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力をもつ教員の割合	85.9%	97.0%
2 授業にICTを活用して指導する能力をもつ教員の割合	76.4%	87.0%
3 児童生徒のICT活用を指導する能力をもつ教員の割合	75.9%	93.0%
4 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力をもつ教員の割合	83.9%	97.0%

(取組状況等の確認)

取組指標		現状値 令和4年度	目標値 令和9年度
1 ICTを活用した児童生徒の資質・能力の育成	○子どもたちがICT機器を授業や学習活動などで活用する場面を設定している教員の割合	87.9%	100%
	○全学校種においてプログラミング学習を実施した学校の割合	—	100%
2 教職員のICTの活用指導力の向上	○県内全教職員に共通ドメインのアカウント配付率	31.9%	100%
	○ICT活用指導力に関する研修を受講した教員の割合	81.4%	100%
3 ICTを活用するための環境の整備	○教育情報セキュリティポリシー策定している学校の割合	51.0%	100%
	○1人1台端末を家庭で利用できるようにしている学校の割合	小12.0% 中32.6%	小・中 75.0%
4 ICT推進体制の整備と校務の改善	○ICTの活用に関する授業公開に他校種の教員が参観した学校の割合	—	100%
	○デジタル化を図っていると答えた教育委員会の割合 「保護者向けアンケート」「欠席・遅刻連絡、学校からの日常的なお便り」「緊急時等における学校からの一斉連絡」の4項目の平均	65.7%	100%